

富士川

4月号 昭和45年4月27日 No. 118

富士川町役場発行
富士川町岩淵121番地
電話 01111

町の人口

45.4.1現在	15,247人
男	7,544人
女	7,703人
世帯数	3,428世帯
(面積)	31.09km ²

印刷/望月印刷所 T010304



当町初の児童館が、三月二十五日に完成しました。

町は44年度事業に児童福祉施策の一つとして、子どもたちの健全育成をはかるため、児童館建設を計画。

宮町の宇多利神社氏子総代会から、子どものためならばと、環境のよい敷地の無償提供があったのを契機に、四十四年七月、国庫および県補助事業として着手しました。

同月、富士市、オトボ建築設計事務所にて設計を委託、同年十月、六社による敷地造成工事の競走入札の結果、若月栄組が八九万円で落札、十一月完成。十二月に四社による児童館建設競走入札を経て富士市、平和建設(株)が七九五万円で落札、同月十七日に着工したものです。

総工事費八四万円の財源内訳は、国庫および県補助金一六〇万円、国民年金特別融資金一九〇万円、一般財源五三四万円となっています。

建物は、鉄骨一部二階建て、一階は一五九m²(四八坪)二階三八m²(一一坪)。

展示室兼遊び室、集会室、静養室兼管理人室、事務室、湯沸室、図書室の六室。ほかに階段を利用した二室、トイレ付。(写真 児童館。宮町の宇多利神社前)

45年度一般会計予算

4億5千2百万円

3月町議会傍聴席

三月定例町議会は、三月十一日から十七日の会期をもって、役場会議室で開かれました。

十一日、若月議長の開会宣言、会議録署名議員の指名（13番齋藤六郎・19番太田竹蔵両議員）に続き、一週間の会期を決定、議長の諸般の報告、望月亀蔵総務、市川政男建設、高岡太郎厚生、三常任委員長の委員会報告、中川町長の行政報告。

一般質問にはいり、7番渡辺清議員の「教育行政について」、5番齋藤昌巳議員の「福祉行政について」、17番太田義雄議員の「教育・福祉行政について」中川町長答弁。続いて議案の審議。

十六日開会日（この間、議案研究のため休会）、次の議案を原案どおり可決。会期一日を残し閉会

- ① 45年度一般会計予算
- ② 45年度公共用地先行取得事業特別会計予算
- ③ 45年度国民健康保険特別会計予算
- ④ 45年度水道事業企業会計予算
- ⑤ 44年度一般会計補正予算
- ⑥ 44年度国民健康保険特別会計補正予算
- ⑦ 44年度水道事業企業会計補正予算
- ⑧ 議会議員の報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ⑨ 特別職の職員で常勤の者の給料等に関する条例の一部を改正する条例
- ⑩ 特別職の職員で非常勤の者の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ⑪ 富士川町清掃条例の一部を改正する条例について
- ⑫ 請願（道路舗装について：紹介 佐野義策議員）
- ⑬ 国民健康保険条例の一部を改正

する条例
 ⑭ 日曜日の郵便物集配業務廃止に関する決議

町税収入

二億一千四百万円

歳入では、予算総額四億五千二百万円に対し、一般財源は二億八千三百万二千円63%。町税収入は二億一千四百二十一万五千円47%で、前年当初予算より一千三百三十二万八千円の自然増収を見込んでいます。

地方交付税については、本年度から、消防一部事務組合の発足により、常備消防に対する普通交付税に救急業務に対する特別交付税を合わせて一千二百万円を計上。

特別財源の分担金、国庫支出金寄付金、町債は、それぞれ事業にともなうもので、とくに、財産収入を前年より大幅な増額を見込み五千九百九十八万五千円計上しています。

人件費

一億三千万円

次に歳出をみてみましょう。まず人件費ですが、前年より二千六百六十五万二千円約20%の伸び

を見込み、一億三千三百三十九万六千円が計上されています。

とくに職員給与については定時昇給分に本年度実施の給与是正を加えたもので、例年化した人勤給与改訂分については、予備費の二百四十六万五千円と地方交付税の給与改訂による財政需用の増にともなう交付額に期待しています。

人件費は、総予算の29%を占め物件費は17・5%、この結果、消費的経費の総額は、二億一千五十六万三千円、46・5%。

投資的経費は、総額二億八百九十万五千円で46・2%、前年の予算に比較し、八千四百五十二万四千円68%の大幅な増。

町道の舗装改良

公営住宅等に

六千百万円

わたくしたちの生活に直結する生活基盤事業として、町道の舗装改良、都市計画街路、公共下水道事業、公営住宅事業を積極的に進めるため六千三百三十六万九千円計上されています。

都市計画街路事業は、岩淵小池下線の継続事業として、用地買収一部家屋補償と事業費を含め二千八百九十八万円。樹形富士川線単独事業は、八百万円を投じ、県営

工業用水事業と併行して改良事業を進めます。

公営住宅事業では、昨年、住宅団地として用地取得した大栗窪団地を宅地改造し、福祉住宅20戸を建設し、住宅難に対処しようとしています。

一、二中統合問題

本年中に調査検討

本年度は、小中学校の内容充実と校庭整備に重点をおき、昨年、債務負担行為で完成させた二中のプール施設費九百三十万円を予算化しています。

本年度、松野地区に建設する教職員住宅を不動産投資方式により教職員共済資金を導入して実施するための所要経費も計上。

中学校改築については、一、二中とも耐力度からみて、危険校舍改築として国の助成を得ることは困難であり、統合問題についても本年中に調査検討を加え、今後の計画に対処します。

農業近代化に

二千百万円

前年、前々年度に続き農業改善事業に四百三十一万円、大北団体営農道、農林道整備、かん排事業に一千七百三十二万三千円。

中川町長

公害、合併両問題

について語る

県道富士川富沢線におけるタン
プ公害、砂利規制による山砂利対
策、さらには東電富士川火力発電
所の問題等、当面する公害問題は
いずれも住民の生命・財産にかか
わる重要問題であります。

とくに、火力発電所の問題につ
きましては、今までの経過が示す
ように、当町においては百害あつ
て一利なく、この建設計画につい
ては、町民一丸となつての反対運
動をさらに盛りたて、わたくした
ちの生命、子孫のしあわせのため
断固反対を貫ぬく決意であります

庵原三町の合併問題につきまし
ては、目下、調査研究の段階であ
りますが、慎重に検討を重ね、と
くに町民皆さんの意志を尊重し、

役場庁舎

建設着工

役場庁舎の改築は、初年度予算
として三千三百万円を計上してい
ますが、事業費は最低八千万円を
必要とし、将来計画を考え、目下
基本設計に着手し、年度内着工、
二カ年連続により完成する予定で
す。

町発展の前途にあやまりのないよ
う万全の研究調査と協議を続けて
いく考えです。
町議会はじめ町民各位のご協力
をせつに望むものであります。

消防庁舎建設等に

一千六百四十万円

消防施設事業は、本年度から常
備消防化するため、消防庁舎建設
無線施設費、タンク車・救急車の
購入等一千六百四十万円を投じま
す。

このほか、消火栓など二百七十
六万円の消防施設費を計上。

交通安全対策

町道に百三十万円

交通安全対策は、国の緊急措置
法にもとづく事業のほか、交通反
則金を財源として、町道の安全施
設（歩道・ガードレール・道路照
明灯・カーブミラーなど）に百二
十八万六千円を計上。

ダンブ対策として、県道富士川
富沢線については、県の協力を得
て、その対策に万全を期します。

松野福祉会館を

建設予定

福祉事業については、保育園の

充実と松野支所廃止にともなう福
社会館建設に所要の経費を計上し
目下、補助起債の申請中です。



国保への繰出

五百万円

国保会計は、医療費等の値上げ
と受診率の増加により、保険料の
増額は必至となり、これにともな
う町繰出金も五百万円必要です。

病院分担金

二百六十万円

共立蒲原総合病院分担金は、昨
年における赤字補てん額は経常負
担分を含み一千五百三十九万八千
円に達しましたが、本年度は、経
常費分二百六十六万八千円にとど
め、病院の経営合理化と事業成績
向上により赤字の減少に努力する
構えです。

公債費

三千二百五十万円

建設投資に比例し、公債費は年
々増額しますが、本年三月末の現
債額は二億一千四百三十一万八千
円に達し、これに要する元利償還
金も年間三千二百五十三万二千元
になります。

順調な水道事業

独立採算経営

水道事業は、経営の合理化と水
源施設の改良により、事業内容は
きわめて順調で、料金据置のまま
本年度より一般会計からの繰入金
がなくても独立採算できる経営状
態となりました。

国保条例一部改正

助産費三千円→二万円

現行三千円の助産費を四月一日
から一万円に引きあげるための条
例改正です。

町三役給料

議員報酬改正

特別報酬等審議会（森中重雄
会長）の答申にもとづいて提案さ

れた議員報酬と三役給料は、原案
どおり次のように可決されました
議長 三万円 (二・五)
副議長 二万四千元 (二・〇)
議員 二万一千元 (一・八)

町長 一四万五千元 (二・五)
助役 一一万五千元 (二・〇)
収入役 一〇万五千元 (九・〇)

なお、選挙管理委員、すなわち
特別職の職員で非常勤の者の報酬
も、それぞれ日額二百円程度増額
(支給額は職分により異なる)さ
れていきます。

清掃条例の一部改正

し尿手数料20%引上げ

人件費の増と衛生プラントの増
改良工事の施行により、し尿清掃
手数料一リットル当り現行一円五
〇銭から一円八〇銭と30銭、20%
の引き上げが必要になったため、
清掃条例の収集手数料の改正が提
案された結果、可決、実施される
ことになりました。

日曜日の郵便物

集配業務廃止決議

日曜日の郵便物集配業務廃止を
決議、ただし、町民皆さんに不便
をかねぬよう付帯決議しています

岩 渕 駅

富士川駅となる 通信両局も改称

岩渕駅は、静岡鉄道管理局長からの四月七日付文書により、正式に六月一日から富士川（フジカワ）駅と改称されることになりました。

これで、新駅舎完成式典の行なわれる六月一日から、新駅舎にふさわしい「富士川駅」となります。町は、これまで、皆さんの熱意を背景に、広報富士川昨年九月特集号で明らかにした理由を示して関係各機関へ十数回におよぶ陳情を重ねて、ついに決定に漕ぎつけ

町制七十周年

記念式典六月一日

ことは、町制施行七十周年にあたり、町は、名誉町民新設、自治功労者表彰等を含む記念式典を六月一日に実施することを決めました。

この式典行事の一つとして、富士川駅舎落成式、電報電話局・郵便局の改称祝賀、町上水道十周年記念式典などが挙行されます（詳報五月号）

たものです。

中川町長の話「難関もありました。しかし、関係各位のご好意を得て、目的を完遂でき、皆さんとともに喜びたい。

協力くださった議事のご熱意に対して深く感謝します」

なお、町は、岩渕電報電話局、

庵原消防組合議会

議員に四名選出

庵原地区消防組合は、県知事認可を経て、四月一日から効力が発生するため、郡三町は、それぞれ臨時会を開いて、各町議会議員から四名づつ同組合議会議員を選出しました。

当町は、四月十三日の町議会臨時会にはかった結果、次のように決定しました。（蒲原・由比両町も、たまたま両日に臨時会開催）

庵原地区消防組合議会議員

- 若月 清議員（町議長）
- 望月 亀歳議員（総務委員長）
- 芦川 守正議員（監査委員）
- 坪内 佐吉議員（消防団長）

岩渕郵便局の改称についても陳情してきましたが、その結果、駅名変更と同じ六月一日をもって、それぞれ富士川電報電話局、富士川郵便局と改名されることになりました。

区 長 会

新 役 員

45年度第一回の区長会が、四月八日午後一時、役場大会議室で開かれ、区長会の役員を選出しました。

区長会役員

会長 若月吉太郎（本通三）

（敬称略）

- 副会長 浅場峯一（宮町）
- 副会長 法月寿作（市場）
- 理事 望月梅吉（室野） 佐野敏雄（坂下） 若月忠雄（新町） 若月雄治（東町二） 神野茂（富士見町） 宇佐美裕（辻）

四月二十四日、同館の諮問機関として、富士川町宇多利児童館運営委員会が発足、第一回の運営委員会として、正副委員長を互選し開館後の運営について慎重な協議が行なわれました。

宇多利児童館運営委員

（敬称略・順不同）

- 区長（〇印再任 敬称略）
- 木島：佐藤万和 小山：〇小林数馬 室野：〇望月梅吉 相生町：植松武雄 上町：齋藤巳未郎 舟山町：〇齊藤圭一 坂下：佐野敏雄 旭町：望月保 堺町：若月政男 川坂：〇磯部寛次郎 新町：〇若月忠雄 新町四十九：深沢玄誠 宮町：〇浅場峯一 小池：土橋元次 本通一：〇田村音作 本通三：〇若月吉太郎 本通四：若月正敏 幸町：木内昇 東町一：〇依田富治 東町二：〇若月雄治 日出町：芦川万作 かぎあな：平野佐一 南町：法月寿作 富士見町：神野茂 八幡町：深沢恒治 清水町：清市郎 大北町：宇佐美賢治 儘下町：〇宇佐美裕

宇多利児童会館

運営委員会

町初の児童館、宇多利児童館の落成式は四月九日に行なわれ、その後、主管する住民課が、開館に必要な諸準備を整えています。

委員の任期は二年、再任をさまたげず、正副委員長は委員が互選します。



写真 役場会議室での

区長会

三町合併研究のため

専門部会設置

庵原地区の合併の必要性および総合開発計画中間報告等については、合併研究協議会事務局（蒲原町役場内）発行の協議会だより一、二号、広報富士川でお知らせしてあるとおりです。

その後、各町の調査、研究は本格的な第一歩を踏みだし、協議会事務局も四月一日をもって拡充整備され、職員数は、専従四名から十名（富士川三名・蒲原四名・由比三名、それぞれ各町から出向）兼務三名（蒲原女子職員・タイプ係）となっております。

若月議長 郡議長会長就任

若月町議会議長は、四月一日、庵原郡議長会長に就任。同議長は、そのため、38年4月から現在に至るまで務めてきた社会教育委員、さらに那社教連・県中部社教連会長、県社教連副会長の要職を辞任。町教育委員会は同氏の芳に対し感謝状贈呈しました

への提供資料は豊富になり、したがって、各会合の審議、討論は活発化しています。

四月行なわれた庵原地区合併協議会は、二日、十六日の両日で、三部会もそれぞれ一〜二回程度開

柳下副団長

勤続三十年表彰

町消防団、柳下寿男副団長は、二月二十日、日本消防協会会長から、勤続三十年以上、消防の職務に精励し成績優秀であったことから勤続章と表彰状が贈られました



写真 中川町長から表彰状を伝達される柳下副団長と拍手で祝う坪内団長

催されています。

当町は、このほか、町独自の合併研究を開始、四月十三日の第二回富士川町合併協議会で専門部会設置を決定、続いて二十一日には総務行政部会、二十二日午前福祉厚生文教部会、同日午後建設産業部会をそれぞれ発足、白熱した討議はいりました。

今後さらに回を重ね、ある程度資料が整備された段階で、町民皆さんと、部落懇談会等を通じて、話し合いを進める予定です。

専門部会の委員―富士川町合併協議会38委員および役場課長を三部会に分けて各部会専門分野について研究審議する委員1次のおり（敬称略）○印委員長と

- 総務行政部会（議会総務委員と学識委員、関係課長）
- 望月亀蔵・太田義雄・若月清渡辺清・望月好雄・佐野義策・石川均・池上憲・望月八代・法月寿作・望月貞一郎・芦川総務課長・渡辺税務課長・大久保企画課長
- 福祉厚生文教部会（議会厚生委員、学識委員、関係課長）
- 高岡太郎・斎藤六郎・斎藤昌巳・渡辺忠作・坪内佐吉・鈴木富治・山本一・若月幾太郎・浅場繁一・望月貞彦・望月勝年・望月住民課長・久保田衛生課長
- 原田教育長・平田教育課長

建設産業部会（議会建設委員、学識委員、関係課長）

- 市川政男・芦川守正・古川喜代松・養武司・桐山良雄・太田竹藏・望月広巳・斎藤久男・浦

公害問題宇宙放送に

期成同盟会出演

公害問題に関するNHK宇宙放送が、五月二十七日、午後七時半から九時までの一時間半、行なわれます。

これは、公害を地球から追放し人間としての真のしあわせを願う現代の世界世論が実現させたもの

ロンドン、スウェーデン、ニューヨーク、日本の富士地区を結ぶ世界放送で、世界各地での公害の悩みが茶の間に飛び込み、同時に日本の公害を全世界に知らせます

そのため、NHKから「富士川町のちとくらしを守る会」を通じて、当町へ、当日の出席要請がありました。

田富雄・谷津倉諄吉・野田合板 若月古太郎・加藤建設課長・望月水道課長 (町三役、正副議長は、各部会に出席)

町民ハイキング 緑の山道を行く

町主催、教育委員会主管、社会体育指導委員会提唱による第3回町民ハイキングは、四月十九日が雨天のため二十六日(日)に実施されました。

木島不動尊を九時に出発、室野部落を経て、緑に包まれた山道を二百余人の参加者が一列に続き、長蛇のよう。明神平で小休止後嵐山の山腹で昼食、宝探し、フキ・ウド・セリなどの山菜摘み。

午後には、蛇観音、吉津沢へ下り冷たい清水に一日の行楽の喜びを味わいました。

45年度婦人会総会

創造性高い

報告・発表

富士川町婦人会45年度総会は、四月十八日午前九時半、第一公民館で開催されました。

会長 望月八代
副会長 望月政江 植松かつ子
理事

文化部、社会部、厚生部、生活部の事業報告に始まり、支部活動発表では、松野地区が「若い母親のグループ学習」、宮町小池支部が「栄養学習」を、それぞれ自分たちの経験を通して公にしました。とくに、創造力豊かな報告、発表は、来賓、会員六百余名の出席者の注目を集め、マンネリ化するこの種の総会の行き方に示唆を与えています。

中川町長、若月議長、原田教育長、由比町婦人会長が、それぞれ祝辞のなかで、当町婦人会の実績をたたえ、望月八代婦人会長を中心とした役員の手導性を高く評価しました。

45年度町婦人会の申し合わせ事項は次のとおり。

「学び合う場をもち、進展する社会のなかで婦人の能力を生かしましょう。主婦・妻・母・町民・職業人として」

新役員 (敬称略)

松野地区商工会ソフト大会

役場チーム優勝

恒例の松野地区商工会春季ソフトボール大会が四月十二日(日)午前八時、第二中学校庭で挙行されました。

富士川町役場チーム(丸山博康 小沢勝巳・村野幸三・池田一郎・小池一義・野口政義・浦野哲司・谷津倉章夫・神戸玉清・錦織より子・石川容子計11選手)が四試合を勝ち進んで優勝。

参加チームは、学校教員・ほてい缶詰(株)A・同B・(株)東静砂利A・同B・役場・(株)佐野製作所・アーバーエーカー(株)・松野サービス店会・(株)松

写真 優勝した役場チーム。役場玄関前で



野砂利の10チーム。準優勝は、松野サービス店会でした。

連合青年団長に

池田一郎君

昭和45年度の富士川町連合青年団は、四月二十三日午後七時、福祉センターで総会を開き、新役員を次のように決定しました。

新役員 (敬称略)

団長 池田一郎 (相生町)
副団長 小池一義 (清水町)
〃 多芸ゆみ子 (舟山町)
常任理事 望月良弘(木島) 望

事務局長 天野 明(八幡町)
局員 白石真由美(舟山町)
植松康江(相生町) 山本永作(新町) 田辺千代美(南町)

監事 太田原麗子(相生町)
小池満夫(東町) 安藤文夫(大北町) 多芸修策(舟山町)

理事 ○望月良弘(木島) 植松正由記(小山) ○望月富士夫(室野) ○斎藤仁(相生町) ○古木悦雄(東町) 若野孝之(北松野) 稲葉守(南松野)

○印は兼務 川坂塚上町・旭町・坂下は総会当日未定

連合青年団45年度の活動方針

「青年の生活を高める」という目標達成のため、次のような活動方針をたてています。

- ①自己開発をしよう。
- ②スポーツ、文化活動を通じて、仲間をつくらう。

池田新青年団長談「丸山青年団長を中心に前役員・団員の皆さんが、創意と努力をもって活気ある青年団に育てあげてくれた後のパトナッチで不安を感じますが、昨年来の個性あるサークル活動をさらに押し進め、全力投球したいと思っています」

文協総会

五月二十三日に決定

富士川町文化協会（秀村敏朗会長）45年度総会は、五月二十三日（土）に福祉センターで行なわれます。

四月二十三日開催された理事会で決定されたもので、総会では、44年度の会計決算、45年度予算と事業計画が審議、それぞれ認定、決定されます。

劇団 創 炎

初夏公演

文協演劇部・劇団創炎（主宰者 斎藤博）は五月三十一日（日）町立第一公民館で自主公演します。

このため、団員三十一名は、目下、毎夜、町立図書館で特訓中。

当日は、楽団「炎」によるバンド演奏と氏車 十作（三幕四場十二景）「逃散」：源平富士川の合戦：を上演しますのでお出かけください。

総会後のアトラクションとしては、映画「ふじかわ」：当町を紹介するカラー二十分：および楽団「炎」（劇団創炎所属）のバンド演奏が用意されています。

同協会は、当町文化活動の母体として、会員も五百名を数え、県下各町村注目の存在。

創作・詩・短歌・俳句・読書の文学五部をはじめ絵画・写真・書水石・手芸・生花・茶の湯・盆栽郷土・演劇・邦楽・舞踊・詩吟・囲碁・将棋等各部の活動は盛んで

す。なお、同協会は、例年十一月三日に挙行される伝統の町文化祭を主管しています。

五月から変わる

一一〇番のしくみ

浦原署管内の松野・岩洞・浦原由比各局の一〇番は、五月一日から富士警察署内富士司令分室にそれぞれ収容され、集中管理されます。

これは、犯罪の広域化とスピード化に対処するため、富士・富士宮・浦原署のパトカーを有機的に運用し、事件、事故の処理をすみやかにするためです。

皆さんに次のことをお願いいたします。

①緊急の事件以外は一〇番を使用しないこと

②電話をかけるときは、あわてず事件名・場所・目標を必ず通報すること

静岡県

警察官募集

■資格 ①昭和17年7月2日から昭和27年7月1日までに生まれた男子

②大学の学部卒業生、高等学校卒業生または同等

の学力を有する者

■申込締切 昭和45年5月9日

■採用 昭和45年7月：予定

（詳細は、警察署または派出所へお問い合わせください。―浦原警察署）

検察審査会とは

交通事故や、その他詐欺、暴行などの被害を受け、警察や検察庁に訴えたが、裁判にまわされない（不起訴処分）ことになり、また世間にさわがれたような犯罪が裁判にかけられずに終わったときは、検察審査会へご相談ください。

検察審査会は、裁判所の中にあつて、民間から選ばれた十一人の審査員が、申立や職権によって取上げられた事件の「不起訴処分について」記録を調べたり、証人を呼んだり、場合によっては実地見分などもして、もし不当という議決をすると、検察庁に「起訴するよう」という手続をとります。

申立費用 無料

審査会の所在地 静岡県では、静岡・沼津・浜松・下田の裁判所内にあります。詳しいことは、次へお問い合わせください。

静岡市追手町十番八〇号
静岡検察審査会事務局、
電話 52 六一一一

町職員異動

四月一日付（ ）内は旧

飯島康男（建設課主事）合併事務局：浦原町へ出向 望月志郎（住民課主事）税務課・合併事務局へ出向 佐藤式巳（総務課係長）住民課係長 野沢晋（税務課係長）

総務課係長 小沢勝巳（税務課主事）住民課主事 池谷勲夫（税務課主事）衛生課主事 野口政義（衛生課係長）税務課係長 清泰二（衛生課係長）税務課係長 丸山博康（住民課係長）衛生課係長 深沢多美子（住民課主事）二小事務職員 二又川享子（二小事務職員）住民課 柳下辰子（住民課主事）衛生課主事 橋本昌子（栄養士）給食センター事務主任 中川静美（栄養士）専任栄養士 深沢のり子（二幼助教諭）住民課主事

兼務・兼務兼任 田村重雄（図書館・公民館長・給食センター所長）給食センター所長の兼務兼任 平田広胤：教育課長現職に給食センター所長を兼務 佐野正豊：建設課係長現職に農業委員会事務局次長を兼務 新採用 小林延江：税務課主事補 常盤和子：松千代保育園保母 佐野陽子：松千代保育園保母 馬野茂美：一幼助教諭

△退職 仲摩八千代（住民課主事）山梨利江（一幼助教諭）



452・2073・19

人の流れ

(敬称略)

祝 結 婚

区名	新郎	新婦	旧姓
宮町	石川勝沖	貞代	佐野
本一	松野慶次	妙子	星野
本一	大石哲也	礼子	黄倉
宮町	星崎日出男	松子	望月
八幡	望月孝之	京子	宇佐美
宮町	細野利弘	武子	草谷
大北	望月 亘	君子	望月
八幡	西森共二	可代子	西森
上町	高橋宏一	美奈子	平井
南町	小林昌夫	エツ子	望月
大北	今駒正雄	和江	大川

祝 誕 生

区名	氏 名	保護者	続柄
清水	望月友美	尚治	長女
宮町	山田義博	健	長男
四十九	岡本大輔	紘一	長男
儘下	桐山 敦	三男	長男
四十九	山脇大治	佐久治	長男
宮町	関原洋美	輝雄	長女
宮町	前林千登世	士郎	長女
南町	武下公一	晴夫	長男
上町	常盤真司	憲衛	二男
川坂	田中小百合	征男	長女
大北	望月昭洋	勇	二男
東一	北村里栄	紀道	長女
宮町	望月美春	信雄	長女

区名	氏 名	転出先
宮町	山本伸一	武次 二男
南町	木伏克哉	利広 長男
富士見	加藤正一	秀次 長男
宮町	百瀬義隆	永伯 長男
本一	池谷孝永	伊三雄 二男

富士川夜話

逃 散

氏 車 十

富士川を挟んで対陣した華麗な源平の大軍勢。

沈んだ冬の真夜中、川尻の湖沼に憩っていた何百万羽の水鳥がふいに一斉に飛び立つ。

その物凄い羽音に眠りを破られた平軍、その先陣に襲いかかったのは、源氏の一軍、甲斐源氏・武田信義の部隊であり、もちろん取るに足らない人数であったが、敵の全貌の見えぬ夜では、言いようのない恐怖を与えたに相違ない。

天地も轟く羽音、平家の軍兵たちは、取るものも取らず、弓を持って矢を持たず、兜をかぶって鎧を着ず、人の馬に乗って落馬する先陣の恐慌は、またたくまに全軍に拡がり、われ先への逃散に変わった。陣所の要点に喫のように打ち込まれた精兵の屯所も、血相交えて狂奔する味方の波に押し流されてしまった。人馬、誰も彼も西を目指して走った。

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

近郷近在の住民たちは、山へかくれ、野に伏し、あるいは、十数筋に分流した富士川河口の三角州

の島に逃がれた。

舟山の岸辺に住む吉ぬしたち一族は、小屋の周囲に雑穀を作る程度で、生活の資のほとんどを漁労と運漕とから得ていたため、逃散の場合も、背後の段丘上に家を構える農民が、米麦を持って山奥へ逃げる立場と異なり、生きる本処である川へ行くほかなかった。

島では、鳥を猟って、貯えてあった粟、山菜の塩漬、魚の干物とで暮しをたてたが、迫まってくる敵寒の冬を考えると、吉ぬしは気が気でなかった。戦いが早く始まり早く終ることを願った。

源 平

富士川の戦い

舟山の部落には、数人の男たちが、舟人として平軍に徴用されていて、平軍の模様はよく分ったし吉ぬしは、さらに、対岸賀島へも人をやっては源軍の様子も探らせていた。

平軍の陣中は、蒲原の遊君どもを集めて酒壺を傾け、鼓をうつという状態であり、なお、甲斐源氏追討のため甲州へ向かった駿河一帯の地元軍兵が、全滅に近い打撃を受けた知らせが、ある夜はいつてからというもの、平氏全軍の

志気が著しく低下したことが分った。

吉ぬしは、今まで漠としていた考えが、だんだん形を造り始めてくるのを感じた。「できるぞやってみよ」内心の声が思わず吉ぬしを身震いさせた。

夜半、川を挟んだ両陣が、見張りの兵を除き、ぐっすり休んでいたとき、吉ぬしたちは、舟に分乗し、歴史的転機の原因になった中心へと乗り出していった。

「それっ！」
吉ぬしの合図で、全員、女子どもも、ここを先途と舟ばたを叩き、賊声をあげ、男たちは、弦音を撥かせて諸方へ矢を放った。

これが、平家が戦わずして敗退した富士川合戦の実相であり、年が寿永と改まった春の頃から、前説のようにこの合戦は、源軍の一部隊の渡河に水鳥が驚き、平軍が総崩れしたと一般に流布されるようになったが、頼朝に任せられ、新しく駿河を支配するようになった武田信義本人だけは、この間の事情を知っており、もちろん表沙汰にはしなかったが、これを功とし、吉ぬしたち一族に対し、舟山一帯の土地と魚労権を与え、永代にわたる貢租を免じた。

彼らは、このことを誰にも語らなかつた。